

【全体概要】

曾於地域のいちごは県内1位の産地であるが、従来品種に加え、輸送性の高い新品種の導入により、実需者のニーズに応じていくことが求められている。このため、「恋みのり」の普及拡大を図り、市場・消費地のニーズに対応した産地育成を進め、農家の所得向上を図るとともに、生産技術確立に必要な情報収集や課題整理、実需者の意向把握等に取り組む。

新品種・新技術等の概要

<新品種の概要>

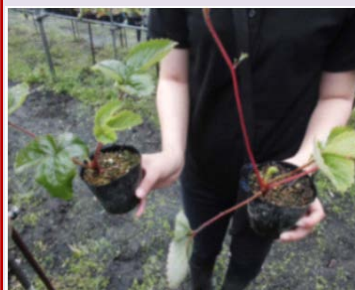
品種名 : 「恋みのり」
品種登録 : 2017年1月30日
特性等

- ①大粒で収穫・調整作業の省力化が可能
- ②連続出蕾性が高い。
- ③棚もちが良い。

<新技術の概要>

育苗

- ①わいか剤を用いた健全苗の育成と I PM 技術の導入検討
- ②「恋みのり」定植適期の検討



主な取組内容

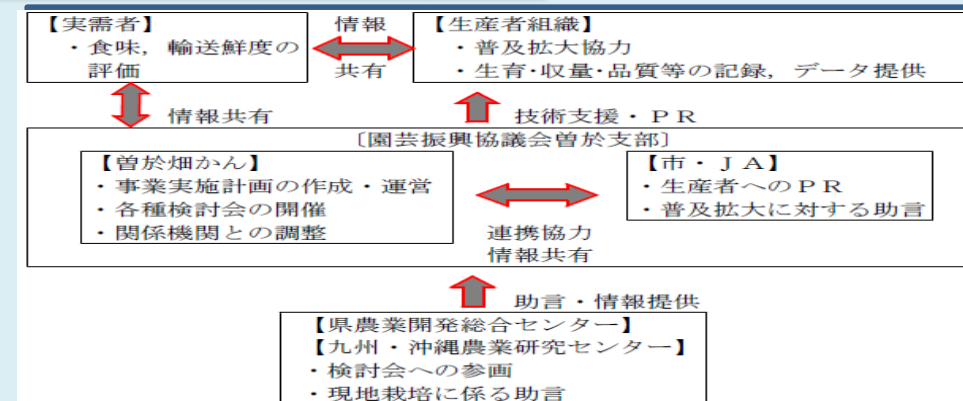
○品種の栽培特性把握と栽培技術の整理

- ・品種の栽培特性の整理と栽培基準表（案）の作成
- ・栽培技術検討会の実施
- ・先進地（熊本県、大分県）での情報収集
- ・育苗、ハウス管理の栽培実態調査（わいか剤の検討など）

○ I PM 技術の普及推進

- ・育苗時期の土着天敵の活用方法の検討

実施体制図



課題と今後の対応

○1年目の取組（実績）

- ・わいか剤を使い徒長しない健全苗を育成
- ・定植時期と花芽分化（1～2番花）の把握
- ・栽培技術の現地検討会を開催し品種特性等を周知
- ・実需者への聞き取り調査や、消費者の食味調査により品質の評価を把握

○2年目の取組（計画）

- ・新品種の栽培特性の収集・整理による技術確立
- ・現地検討会を通じた品種特性の周知と生産安定
- ・ I PM 技術の普及促進
- ・実需者等へ食味調査や意見交換によるニーズ把握